

## 第5章 整備・維持管理の進め方

### 5-1 公園整備の進め方

第6期上士幌町総合計画やまちづくりにおける各種個別計画の内容を関連させるとともに、それぞれの公園の改善すべき問題点を把握し、客観的な評価を行いながら、優先的に整備すべき公園を決定していきます。

町民が公園に愛着をもち、整備後も深く関わりを持つことができるよう、行政だけではなく、「協働」の公園づくりを行います。

#### 5-1-1 公園の新設及び全面改修による機能性の向上

新設にあつては、土地利用指針を考慮し、今後のまちづくりにおける位置づけを明確にするとともに、町民との十分な対話をもって、空間デザイン、施設の利活用、維持管理などを決定していく必要があります。

また、公園間との連携や機能補完などに配慮しながら、町全体を意識した公園づくりを行います。

#### 5-1-2 部分改修による機能性の維持

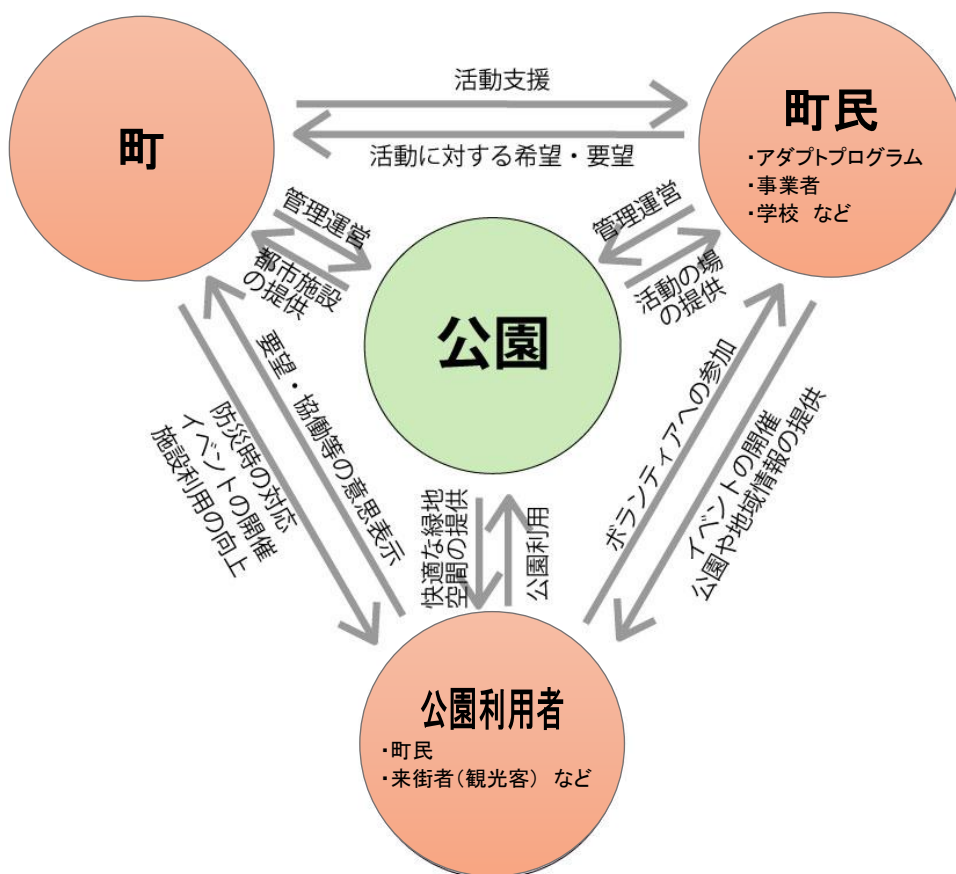
施設の点検等の結果、改善の必要がある公園等については、それらの要因を解析するとともに、緊急性、必要性及び将来的な展望をもって、遊具等の撤去・更新・改修を行っていきます。

### 5-1-3 管理運営による質的向上

町による管理運営にあっては、町民ニーズを捉え、利用者の意見を反映するように日々の公園管理を見直し、改善していきます。

しかしながら、愛着のある公園整備には、利用者みずからが公園整備に関わりをもつことが大切と考えているため、アダプトプログラムなどの制度を活用しながら、町民との協働による公園づくりを行います。このことにより、地域の交流の場として活用されることを目指します。

図 5-1 各主体の役割



## 5-2 維持管理の考え方

公園を構成している施設は多種多様で膨大な数にのぼり、相当数の施設で老朽化の進行が見られます。

再整備後の公園を含め、公園施設の維持管理にあつては、限られた予算で機能保全のための日常的な維持修繕や定期的な部材の交換、危険施設等の撤去や更新など、維持管理を計画的に行うストックマネジメントの取り組みが求められます。

### 5-2-1 ライフサイクルコスト縮減

公園施設の計画的な維持管理の方針を明確化し、施設ごとに管理方針、長寿命化対策の内容などを最も低廉なコストで実施できるよう検討することが必要です。

具体的に、日常的な維持管理のみを行い、施設の機能が果たせなくなった時点で更新する場合と定期的にコストをかけて手入れを行いながら、施設をできるだけ長持ちさせたいうえで更新する場合があります。

ライフサイクルコストの比較を行い、最も低廉となる手法を検討しながら、安全と安心の施設管理を行っていきます。

表 5-1 上士幌町 公園施設整備水準の設定

公園施設	整備水準内容
広場、園路、パークゴルフ場、駐車場	従来と同様に、既存の舗装状況や芝生状況を適宜、監視しながら安全性が確保できるための維持、補修を継続します。 万一、損傷が生じた場合は安全確保の観点から速やかに事後保全の方針に基づき修繕を行い、健全性、安全性を確保します。
遊具及び関連施設	それぞれの地域特性や公園の性質、地域住民の要望等を踏まえ、遊具設備の点検、修繕、更新、整備を計画的な長寿命化措置を行います。 ただし、老朽化が著しい遊具等で安全性の確保が困難な施設については、利用状況等を勘案、判断した上で撤去、補修を行います。
トイレ、シェルター	利用者の快適性、老朽化等を勘案し、補修・更新を適宜行う。安全要素が懸念される施設については利用状況を勘案した上で撤去を検討します。
ベンチ等休憩施設	木製のベンチ等施設は、設置状況から屋外に設置されることがほとんどであり、鋼製部材に比べ腐食が進展しやすい。このため、座面等の表面保護による修繕を行います。また、地中基礎部は腐食進展によりぐらつきが生じやすいため、点検補修ではこの点への留意が必要と考えています。

### 5-2-2 計画の進行管理

町は、国や道など関連機関からの情報収集により、公園をとりまく社会情勢の把握に努めるとともに、公園利用者のニーズの変化の把握に努めます。

本計画と社会情勢や利用者ニーズとの間に相違が生じた際には、必要に応じて町が町民参画のもと、本町の公園が目指すべきものは何かということを検討しながら、より良い公園再整備につなげていきます。

### 5-2-3 計画の推進

民間活力を活かした公園づくり、インクルーシブ<sup>※1</sup>の考え方の導入、防災機能の向上、SDGs や脱炭素化の考えなども踏まえ、より社会に即した公園の再整備を行います。

維持管理については、PDCA マネジメントサイクルの評価を取り入れ、適宜、更新、改修を行うことにより、安全性の向上、管理コストの縮減を図ります。

全体整備や部分改修といった両方の視点から整備を行うことで、安全・安心で快適な公園等の整備を推進していきます。

#### ※公園における町のインクルーシブの考え方

障がいの有無や性別、年齢などに関係なく、すべての人が互いの機能面だけでなく心理的にも満足できる施設をつくることを目指します。

図 5-2 PDCA マネジメントサイクルによる評価

